

平成16年8月2日

## 中城湾港（泡瀬地区）公有水面埋立事業における仮設橋梁工事の 実施について

中城湾港（泡瀬地区）公有水面埋立事業において、仮設橋梁の延伸に係る工事を別添のとおり8月4日より実施することに致しましたのでお知らせします。なお、海上工事（護岸等）については、台風季節後に汚濁防止膜を展張予定であること、移植対象となる大型海草の濃密域（被度50%超）の有無を確認する必要があること等から、9月以降の見込みとなっております。

### 【仮設橋梁工事について】

仮設橋梁工事は、昨年度も実施されており、環境への影響が非常に小さいことが既知であることから、環境監視委員会(7月22日)にて議論頂いた監視計画に従い、慎重にモニタリングをしながら実施致します。

3月に確認が報告されたオサガニヤドリガイについては、監視計画に盛り込んだことにより「報告書(7月14日)の内容に従って、十分かつ慎重に実施すること。環境調査の結果を反映させること」という県知事意見(7月20日)の主旨に十分従うものになったと考えられます。

また、環境監視委員会(7月22日)においては、当面事業者の案によって監視を行っていくものの、より良い監視調査を実施するために、意見のある委員とは意見交換を行い、可能なものは随時取り入れることとの結論となっております。そのため、事業者においては、既に意見のある委員との意見交換を開始しており、早急に調整を終了し、監視調査手法を改善していきたいと考えています。

【今後の予定について】

事業者においては、今後の委員会、工事等の予定については、現在のところ、以下のとおりとしています。

8月上旬	移植対象となる大型海草濃密域の有無の最終確認
8月中旬	海藻草類専門部会開催予定
8月下旬	環境利用学習専門部会開催予定 比屋根湿地・泡瀬地区海岸整備専門部会開催予定
9月上旬	人工海浜専門部会開催予定 環境保全・創造検討委員会開催予定
9月中旬	汚濁防止膜展張（海上工事（護岸等）再開）
10月中旬	合同勉強会開催予定

環境監視委員会(6月3日)において示しましたように、これまでの藻場調査においては、今年度事業予定海域において移植対象となる大型海草の濃密域は確認されていませんでした。そのため、現時点では、今年度の工事において、海草移植は予定されておられません。

今後、大型海草濃密域の有無の最終確認をしますが、その際、30日の泡瀬干潟を守る連絡会からの要望に対応した合同調査を実施予定であり、現在日程を調整中です。8月中旬の海藻草類専門部会においては、工事前の大型海草濃密域についての最終確認結果をお示しするとともに、引き続き、場の創造に向けた取り組みについて指導・助言をいただく予定としております。

7月23日に日本自然保護協会より記者発表され、30日に泡瀬干潟を守る連絡会より保全の要請がありました海藻類につきましては、別紙のとおり、既に事業者の調査において確認されている種であること及び種の希少性についての新たな文献情報はないことから、新種等に関するアセスに定める手続の要件には含まれないと判断しました。ただし、事業者努力の範囲内として、専門家より「学術的に重要な可能性がある」とのコメントを頂いたカラクサモク及びコアマモについては、専門家に指導助言を得ながら調査を実施したいと考えています。

今後とも、事業者においては、環境に最大限配慮しながら工事を進めていきたいと考えております。

【工事区域について】

